

c o n t e n t s

第1部

小清水動植物大図鑑……………4・5

■第一章

「大自然」のつむぎ……………6

小清水の生態系……………7・8・9・10

■第二章

「農業」のつむぎ……………11

「ゆう水」による土の蘇生……………12・13

小清水町ブロッコリー栽培流通部会……………14・15

岡本農場……………16

■第三章

「人と人の輪」のつむぎ……………17

JA女性部ゆう水サークル……………18・19

NPO法人グランドワークこしみず……………20・21

原生花園ボランティアガイド……………22

第2部

「町民が主役」……………23

1. 産業……………24・25

2. 観光……………26・27・28・29

3. 医療・福祉……………30・31

4. 教育・文化・スポーツ……………32・33

「町づくり再出発」……………34・35

命をつむぐ
大地
こしみず

オホーツク海に面した小清水町は、
山と森林、湖など豊かな自然環境に恵まれた農業の町。
15年以上も前から健康な上づくりに着目し、
地域の産業資源を有効活用した循環型農業の実践、
クリーン農業の確立など、自然と人が共生できる大地を作り、
守ってきました。次世代を担う子どもたち、そのまた子孫へー。
連綿と続く命の循環が、ここにはあります。



町長
林 直樹 naoki HAYASHI

K o s h i m i z u

発刊にあたって

小清水町は、明治12年に先人がこの地に一粒の自治の種を蒔いてから130年を迎えました。この間、幾多の困難にも開拓者精神そして町民の英知と郷土愛によりそれを乗り越え、着実な発展を遂げながら2世紀目を邁進しているところでもあります。

いま、地方自治体の真の自主・自立といった分権型地域社会の実現が強く求められており、「自己決定」と「自己責任」を明確にしなければならない時代を迎えております。

小清水町は、この時代の潮流に向かい、優れた自然、豊かな資源や特性を守り、それを活かし、「健康ですべての人や環境にやさしいまち」の実現に向け、新しい時代に対応したまちづくりに「再出発」したところでございます。

この要覧は、「命をつむぐ大地 こしみず」をメインタイトルとし編集したものです。本要覧を通じ、豊かな自然と豊潤な大地が育む健康なまちの様子をご理解いただき、未来へ連綿と続く命の循環、命の大切さが伝わるメッセージとなれば幸いです。